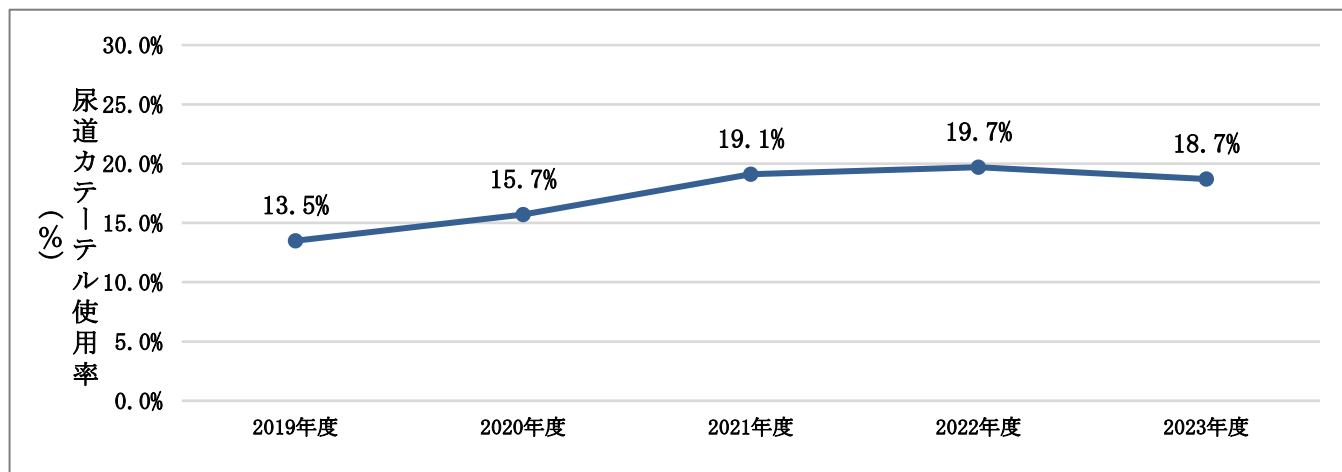


(7) 尿道カテーテル使用率と症候性尿路感染症発生率

◆尿道カテーテル使用率

【分母】入院延べ患者数

【分子】尿道留置カテーテルが挿入されている延べ患者数



○尿道留置カテーテル使用状況

留置期間	2022年度		2023年度		年度比較
	患者数	割合 (%)	患者数	割合 (%)	
1～2日	4,163	46.1%	4,168	45.3%	↓
3～6日	2,971	32.9%	3,228	35.1%	↑
7～13日	1,174	13.0%	1,147	12.5%	↓
2週間以上	721	8.0%	656	7.1%	↓

◆症候性尿路感染症発生率

【分母】入院患者における尿道留置カテーテル挿入延べ日数

【分子】分母のうちカテーテル関連症候性尿路感染症の基準に合致した患者数



・2023年度 日本病院会参加病院(500床以上) 平均値: 1.61 中央値: 1.54

○尿道カテーテル平均留置日数

年度	全患者	内訳	
		尿路感染患者	感染患者以外
2022年度	4.5日	14.9日	4.4日
2023年度	4.1日	15.2日	3.9日